

THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

編集長 野々垣和宏

2025 年 05 月 13 日 (火) 発刊

KOFU21

Chartered 1990
甲府21ワイズメンズクラブ



〒400-0032 山梨県甲府市中央3丁目10-7
山梨 Y M C A グローバルコミュニティセンター
☎055-235-8543 fax055-235-8553
Mail kofu21@googlegroups.com

国際会長	A・シャナヴァスカーン(インド) 「より良い世界のために、共に」 (Together for a Better World)
アジア太平洋地域会長	ジョウン・ウォン(香港) 「大きなインパクトを起こそう」(Make a Great Impact)
東日本区理事	山田公平 (宇都宮) 「ワイズの方向性を見極める」(Our Future Direction)
あずさ部部長	ピーター・マウントフォード(甲府) 「めあて 望み」
甲府21クラブ会長	興水順雄 「未来のために行動しよう」(Let's act for future!)

甲府21ワイズメンズクラブ
2025 年 5 月会報

今月の強調テーマ

L T、ユース

今
月
の
聖
句

コリントの信徒への手紙 第 13 章 4 節

「愛は忍耐強い。愛は情け深い。妬まない。愛は自慢せず、高ぶらない」

選者：荻野清

5月 巻頭言



＜咲き誇る我家のパンジー～興水順雄＞

春爛漫のこの頃です。我が家のパンジーも咲き誇り、目を楽しませてくれます。残雪の南アルプスの山々もまさに「山笑う」風情です。こうした景色の中、花を愛で、鳥の声や風の音を感じることができるのも、この季節ならではのようです。

4 月 9 日には W4W の一環で、山梨 YMCA で子供たちと一緒にプランターに花を植え、敷地内に配置しました。YMCA に来るたびに、プランターの綺麗な花が目につくと思います。また、日ごろの感謝の気持ちを込めて周辺の清掃もしました。

4 月 19 日には第 7 回を迎えたベビーカーコ

甲府 21 クラブ会長 興水 順雄

ンサートを開催しました。60 名近くの参加者、それにメン・メネット、併せて 19 名がスタッフとして携わってくれました。出演者の「パルフェ」の皆さんがプログラムを工夫して「子供たち参加型」の場面も作ってくれたため、大いに盛り上がりました。このイベントを中心となってプロデュースした寺田ワイズを始め、ご協力いただいた皆様に感謝致します。

同日に富士五湖クラブ主催の「第 14 回障がい者フライングディスク大会」が富士吉田市で開催され、21 クラブからも 6 名がスタッフとして参加しました。表彰式の万歳隊などで、大会を大いに盛り上げました。

5 月 24 日にはビッグイベント「第 27 回山梨 YMCA チャリティーラン」が開催されます。協賛社獲得に皆さんのご協力をいただいておりますが、当日の運営にも多くのスタッフが必要となります。チャリティーランの成功のために、皆さんのご協力をよろしくお願いします。

＜ひとくちメモ＞

春は「山笑う」(山が笑っているように見える)、夏は「山滴る」(山が露で濡れているように見える)、秋は「山粧う」(山がお化粧をしているように紅葉で色づく)、冬は「山眠る」(山が静まり返っているように見える)です。

＜野々垣和宏＞

＜例会プログラムは P 2＞

5 月第 1 例会プログラム

5 月 第 1 例会プログラム

2025 年 5 月 13 日 (火) 18:30 ~

会場: 山梨 YMCA 3 階 大澤英二記念ホール「ベテル」

司会 清藤城宏ワイズ

1. 開会点鐘 興水順雄 会長

2. ワイズソング・ワイズの信条
(奏楽) 杉田博子ワイズ

3. 今月の聖句 荻野 清ワイズ

4. 会員一言 藤原琢也ワイズ

5. 会長挨拶、ゲスト紹介 興水順雄 会長

6. ハッピーバースデー

7. ワイズディナー

8. 次期クラブ方針等 水越正高次期会長

9. YMCA 報告・諸報告

10. YMCA の歌

11. 閉会点鐘 興水順雄 会長

カーコンサートについて、また、他クラブへの応援として富士五湖クラブ主催の「障がい者フライングディスク大会」について水越副会長から詳細の話がそれぞれなされた。

また、清水ワイズから、『シンガーソングライター・しらいみちよ』さんが行っている“能登復興支援”に対する、クラブとしての支援金提供に関して、しらい氏からの感謝の意の報告をいただく。

季節は初夏、諸々のイベントが続いていきます。ワイズダムへの貢献でワイズライフを楽しんでいきましょう。

《5月の誕生者》 Happy Birthday!

(メン)

佐藤利之 (5/8)

依田友紀 (5/22)

溝口秀男 (5/23)

(メネット)

奈良田智恵美 (5/31)

[敬称略]



2025 年 4 月第 1 例会報告

書記 荻野清

4 月 1 日に山梨 YMCA 3 階の大澤英二記念ホール“ベテル”において、当クラブ第 1 例会がおこなわれた。

興水会長の開会点鐘につづき、杉田ワイズの奏楽と鈴木ワイズの聖句という荘厳な形で会が始まった。

会長挨拶では、当月から次月そして 6 月の区大会まで、目白押しのスケジュールが続くところから、体調面のセルフケアをお願いする場面があった。当年度のラスト 3 ヶ月のクラブ・部・区および山梨 YMCA への対応と貢献を話された。

当月の卓話は、新入会員の武井教子ワイズがおこない、自身の職業（不動産業）を中心に、山梨県及び甲府市の現行推移について、興味深い話があった。

4 月 CS/Y サ委員会の行事について、佐藤委員長および寺田ワイズから、W4W とベビー

< 4 月例会出席者 >



77.8%

会員数	45名
第一例会出席者	35名
メイキャップ	5名
メネット	4名
総出席者数	35名
出席率(会員のみのみ)	77.8%

今後の予定

5月10日(土) あずさ部第3回評議会
(富士五湖クラブ)

5月13日(火) 第1例会 18時半

5月24日(土) 山梨YMCAチャリティーラン

5月27日(火) 第2例会 18時半

6月7日(土)~8日 東日本区大会(宇都宮)



W4W Week For Waste

荻野 清

当クラブでは、去る 4 月 9 日（水）の午後時間に山梨 YMCA において、“プライムタイムの学童・キッズパラダイス学童・きらきら教室メンバー”と共に 2025 年 W4W 活動をおこなった。山梨 YMCA 内のゴミ・小石拾い・草取りを中心に実行し、終了後には美化活動として、大小 60 数個のプランターへ、春・初夏ならではの花木植えを実行した（佐藤 CS/Y サ委員長の貢献に感謝）。

子どもたちが自ら進んで、“保育園児のために小石を拾う”“雑草を根から取去る”という姿や“プランター植栽のカラーコーディネート”の感覚に、女性ワイズからベリーグッドの声が上がったほどであった。

今回は山梨 YMCA 内であったが、次回は広くコミュニティー活動にチャレンジしたい。なお、当クラブの参加人数は男性 13 名・女性 3 名で、山梨 YMCA から学童 13 名、引率者 5 名であった。



第7回 ベビーカーコンサート in 甲府

寺田 喜長

第 7 回ベビーカーコンサート
in 甲府報告

日時 2025 年 4 月 19 日
（土）11:00～

会場 山梨 YMCA3 階大澤英
二記念ホール「ベテル」

演奏 音楽アンサンブル パ
ルフェ

第 7 回のコンサートを今回も
「音楽アンサンブルパルフェ」
の協力を頂き開催いたしました。

子育て中の親子の皆さんに加え今回もオリーブを利用されているおじいちゃん、おばあちゃん等 58 名のすべての年代の交流の場となり YMCA の掲げるフォーオールを実践。来場者にトーンチャイムやハンドベルの楽器体験をして頂き、「キラキラ星」を演奏、聴くだけでなく参加者みんなが演奏者となり楽しい時間を持つことが出来ました。富士五湖クラブのフライングディスク大会への応援にメンバーを派遣したにもかかわらず 15 名のクラブの会員の皆様とメネット 4 名の方にご協力頂き有難うございました。7 回目を終えてアンケートを集計した中で、YMCA を知っている方が 37%、ワイズメンズクラブを知っている方が 5%でした。開演前にパンフレットをお渡しするだけでなくそれぞれの責任者がアピールする時間を設けることが必要ではないかと反省。ぜひ次の機会にも参加したいとのほとんどの回答者の答えに期待を込めて。開演時間の変更へのご意見は有りませんでした。



第 14 回障害者フライングディスク大会 への協力

水越 正高



第 14 回障害者フライングディスク大会への
協力

主催：富士五湖クラブ

参加者：飯田・松村禎・小澤智・野々垣健・水越・
山口・荻野 敬称略 / 順不同

記録者：水越

4 月 19 日（土）8：30～13：00

朝から快晴となった富士五湖クラブ主催の障害者フライングディスク大会では、大会への参加者が増えたこともあり、例年よりも準備が 30 分前倒しで始まりました。

選手は 125 名、協力ボランティア数は 70 近くとなり、大規模な大会となりました。

開会式ではあずさ部ピーター部長の挨拶に始まり、気持ちの良い青空の中で準備体操が実施されました。

例年通り、甲府 21 メンバーは誘導係と万歳担当の係に割り振られました。

今年は大学生のボランティアも加わり、今まで以上に新しい人たちが関わるイベントとなっていました。

このように既存イベントの協力者が増えていく事はとても良い事と感じました。また大学生のボランティア参加者がワイズ主催のイベントに出てくることは、この後のユース活動にもつながる良い機会だと思います。

けがや病気がなく無事に大会が終了し、各自、河口湖を後にしました。



ベビーカーコンサートの一コマ。一部画像を調整しています。



＜フライングディスク＞ アキュラシー種目

競技の特徴は、正確性が求められることです。5m または 7m（どちらかを選択）離れたアキュラシーゴール（内径 91.5cm）に向かってディスクを 10 回連続して投げて、通過した回数を競います。ゴールに触れて通過しても得点になります。

会計報告

会計 赤根 学

【会計報告】

2025 年 4 月末現在

赤根

項目	ニコニコ	バザー	クリスマス	トータル
目標値	250,000	100,000	50,000	400,000
3月の合計	22,500	0	0	22,500
3月末迄累計	148,717	550,000	42,750	741,467
達成率	59.4%	550.0%	85.5%	185.3%

☆今回は白井様の能登支援にご寄付をさせていただきました。赤根

「日本での百年」を辿って

カナダ・メソジストの歩み [明治・大正編]
グウェン・R. P. ノルマン 著
後藤哲夫 訳
One Hundred Years In Japan, Part I: 1873-1923

後藤 哲夫

第 16 回 宣教師の困窮

『日本での百年』の巻末に資料として「白米の値段の歴史」が載っている。それによると、1916(大正5)年の米の価格が、1919年(大正8)年には、3倍以上になっている。これは、第1次世界大戦による好景気で、一部の富める者が米の買い占めを行ったためである。米価が高騰し、公務員、貧しい一般庶民は悲鳴を上げ、米騒動が各地に起った。さらに物価は上昇し、すべての品目に及んだ。宣教師、婦人伝道師、牧師、男子福音士たちの生活も困窮に陥った。その上、1918年にはスペイン風邪のパンデミックで、日本国内で推定40万人の死者が出たと発表されている。

同じような現象が、現代のわが国にも起きていないだろうか。コロナで多数の方が亡くなられ、次は物価の高騰である。米問題も連日報じられている。

一方、カナダでの経済状況も悪化していた。日本への伝道資金を集めるのも大変であったろう。

カナダ宣教局の日本代表マッケンジーは、本国の宣教局議長エンディコットに何度も手紙を書いた。この難局に対処し、苦闘している様子が読み取れる。

「保険証書を抵当に借金する宣教師」「アルバイトをしたいが仕事量が増えて苦慮している人」「最もひどい困窮者は扶養する子供達がいる人」(山梨英和初代校長ウィントミュートとその夫コーツには6人の子供がいた)。その結果お金を切り詰め、「より安い食べ物ばかりを口にして、健康を損なうものが出ている」と本国に報告している。また、日本人伝道者の生活を助けるために、自らの給与を

削減しそれに当てようと、婦人宣教師たちは決議している。「人はパンのみによって生きるにあらず、神の言葉によって生きる」と言われるが、この時代、生きるための戦いがあったことを忘れてはならない。

宣教師の死因を見ると、多くは過労、そして病気である。殉教といってもよい。1873年から100年間でカナダから派遣されて来日した宣教師は、304名!であった。明治・大正期では160名。うち107名が婦人宣教師。一人一人の生涯を辿ると、襟を正さずにいられない。ただ頭の下がる思いである。

>>>ここから引用>>>

戦時の物価の高騰は、日本人福音士の昇給にも反映されていることを私たちは知っているが、現場で働いていたり、賜暇で休暇中の宣教師たちをもひどく苦しめた。1917(大正6)年協議会執行部は、賜暇中給与を1,200ドルに増やし、14歳から21歳の子供の養育費は150ドルないし200ドルに上げるよう勧告した。翌年春、協議会は、カナダでの状況悪化のために賜暇中給与の提案を撤回したが、秋にはもう一度子供の養育費の増額を要請している。また高騰する生活費に応えるために、支援のために日本人の給与を10%から50%増額することを記している。アームストロングは米騒動を取り上げて米の価格がこれほど高くなったことはこれまで一度もなかったことだと述べている。日本人の働き人は援助と励ましを受けるに値する人たちだった。宣教師に関しては、もうすでに借金をする者もいた。新しい宣教師が補充されてこなかったので、多くの人が二人分の仕事に取り組んでいた。アルバイトを始める時間はあっても、決められた仕事に追われ、定められた給与以上のお金を得ることもできなかった。自分の保険証書を抵当に金を借りる者もいた。最もひどい困窮に襲われたのは、扶養する子供のいる人たちだった。他のミッションではこのような人たちはミッションを離れて

いった。アームストロングの手紙には、物価の一覧表と多くの職種の労働者賃金がどの程度上げられているかという報告書が同封されていた。

このように気前よく給与を引き上げたにもかかわらず、宣教師たちの生活は依然として困窮していた。マッケンジーは 1919（大正 8）年 9 月エンディコットに私信を送り、10% のボーナスは差し迫った必要性を認識している点で誤ってはいないだろうと述べている。彼はまた、他のミッションとの給与の比較を持ち出していた。12 月、マッケンジーはアームストロングの述べた状況判断を繰り返し、より安い食べ物ばかりを口にするように努め、その結果健康を損なう者も出ていると付け加えた。コートツは仕事量が 100—130% に増えたのに給与はほんの 20% を少し超えただけだった。



ミセス・ウィントミュートとコートツ家族写真
1934 年 コートツは浜松で肺炎のため逝去

<ブリテン委員長野々垣和宏です>

後藤先生の書籍を開いてみると、1916 年米 10 ㍑の値段は 1 円 20 銭。1919 年の値段は 3 円 85 銭。白米の値段は 3 倍に上がった、とあります。最近の米の値段は、2023 年 1 月に 5 ㍑で 2030 円だったものが、2025 年 2 月に 3892 円になっています。約 2 倍に上がっていることになります。歴史を生活者としての目線で眺めることにより、リアルに感じる事が出来る事が多くあります。スペイン風邪のパンデミックと新型コロナ。物価上昇と米価格。そして、私たちは同じ過ちをしてはいけない、と思います。奇しくも今月号の鎌田先生のコラムには「米穀通帳」が載せられています。

私の戦争体験 No.5



私の戦争体験
～米穀通帳～

鎌田 巖

▽米穀通帳：（べいこくつうちょう）
配給米を購入するのに必要な通帳



米穀通帳の存在は、60 才以下の方には殆ど知られていないと思います。米穀通帳は米穀配給制度の台帳として、各世帯に交付された通帳です。第二次世界大戦争中の米穀不足から、日本では米穀の生産、流通を政府が管理することになり、1941 年 4 月（昭和 16 年）最初に 6 大都市の各世帯に交付、翌年施行された食糧管理法によって全国的に実施された。当時の配給量は 1 人 1 日 2 合 3 勺（330g）しかし終戦前後には量も減り、しかも遅配続きであった。1951 年（昭和 26 年）ごろからは米穀事情も好転し、食料管理制度も緩められ、米穀通帳の存在意義も次第に薄れ、身分証明書代わりに使用されるにすぎなくなったのです。1981 年 6 月（昭和 56 年）に交付された改正食料管理法 82 年（昭和 57 年）1 月施行）によって米穀通帳は廃止されました。今はこの時期まで存続していたことを知る人は殆どいない。この制度により闇米の流通が横行しました。物々交換、高値での販売等です。それらの取り締まりは警察

ペンリレー

「護られて 88 年」

功刀 弘

私は精神科医としての 60 年間に身体に重傷を負ったり、社会的に追い込まれてそれを開業で乗り越えてきたりと、艱難は数えきれない。

この 8 年間は要介護 5 の妻の介護に生きがいを見出していた。しかし昨年夏、妻の介護で私は腰椎圧迫骨折をして要支援 1 となり、妻と二人で介護施設に入所した。

私は週 1 回だけ診療を担当し、その日は甲府の自宅から出勤している。4 月 3 日、小雨の中、透明の傘をさし、前方を見ながらハガキを手に通勤途中のポストに向かって歩みを急いだ。その時、ビニール傘の前に急に車が現れたと思ったら投げ飛ばされたようで、気がついたら地面に両足を開いた状態で尻もちをついていた。左後ろに軽自動車が止まり運転していた女性だろうか、「救急車を」と叫んでいた。偶然にもクリニックの職員が出勤途上を通りがかり、二人で私を助け起こした。見るとズボンの右半分が破れて血がにじんでいた。私は何とか立ち上がることが出来、下肢の骨折がないことにホッとした。横にはへし折れたビニール傘が転がっていた。次女に介護施設への連絡を頼んだところ、むしろ加害者ではなかったことを安心したようだった。東京の長女に、甲府に向かうよう連絡した。間もなく救急車とパトカーが到着し、私は甲府脳外科に搬送

が抜き打ちで行い、あらゆる交通機関に警察官を配備して違法穀物を検挙しました。当時の交通手段は、自家用車等はなく公共の乗り物しかありません。そこで警察は、抜き打ち検査として、警察官が電車の中へ立ち入り、車内での荷物の検査、各駅での監視、摘発し、違反者を逮捕しました。またバスでも同様に停留所で警察官がバスから乗客を降ろし、荷物の立ち入り検査が頻繁に行われたのです。そして摘発、検挙し違反者は逮捕しました。

私はバスでの立ち入り検査の様子は今でも鮮明に記憶しています。それは母と共に韮崎から甲府の家に帰る途中竜地の停留所で停車している時、乗客全員が降され警察官が乗客一人一人の手荷物検査を行い穀物始め違法の品物を没収していったからです。その時母の手提げバックの中には多少の米が入っていましたが、さも軽そうに持っていた事で検挙は免れた事を、今でも鮮明に記憶しているのです。



Chat GPT による持ち物検査の図絵

<編集長 野々垣和宏より>

今回をもって、鎌田 巖先生の戦争体験は終了です。9 月には、総括したお話をしてくださるということです。

戦後生まれの私にとってはこの連載を拝読して驚きの連続でした。お忙しい中、執筆ありがとうございました。

7 月号から葉袋さんの連載がはじまります。お楽しみに。

(前ページより続く)

された。クリニックの職員が付き添ってくれて心強かった。

この日はクリニックで長時間座っての診療に備え、特注コルセットをしっかりと腰に巻いて出かけていた。そのおかげで腰椎圧迫骨折への影響がなかった。頭部の骨折や脳内の異常所見もないことが確認され、両下肢の出血処置をされた。

娘の車で介護施設に戻ったが、妻が心配するので事故の話はしなかった。晩になると下肢が重く、寝返りで痛みが走った。トイレに起きた際、足を踏ん張り、立ち上がるのがやっとだった。

事故に巻き込まれるか否かは、秒の差いだ。自動車との正面衝突で体がどう飛んだのか意識もなかったが、痛みは日ごとに軽減して翌週の診療にも就くことが出来た。事故の経過には多くの幸運があったことを素直に喜び、この体験を記した。



ChatGPT による雨の日の運転

傘をさすことが多くなるこれからの季節。歩く人も、運転する人も、気をつけて！

◆YMCA便り◆

「創立79周年記念早天祈祷会」

総主事 中田 純子

5月1日(月)、本館グローバルコミュニティセンター3階「大澤英二記念ホール ベテル」にて、「創立79周年記念早天祈祷会」を開催いたしました。歴代総主事をはじめ、山梨YMCAに連なる皆様25名が集い、79年の歩みを喜びと感謝を分かち合うひとときとなりました。

山梨YMCAは、戦後の混乱が残る1946年5月1日、国内13番目の都市YMCAとして誕生しました。創設にあたっては初代理事長・市川規一氏の自宅を開放しての事務所設置など、地域の希望となる歩みが始まりました。会館建設や多様なプログラムの展開、幾度もの移転と発展を経て、2014年には公益財団法人化、2020年にはグローバルコミュニティセンターの竣工と、地域とともに歩み続けてきました。

これまで山梨YMCAは、語学、野外活動、保育、高齢者・障がい児者支援など、すべての人が共生できる地域社会の実現を目指して事業を展開してきました。ワイズメンズクラブのチャリティーランやチャリティーバザーの協力、「銀河鉄道の森プロジェクト」などの自然体験や里山再生、お正月遊び体験、そしてユースリーダー育成にも連携し力を注いでいます。

YMCAの一番の願いは、集うすべての子どもや若者、一人ひとりが自分の価値を見出し、仲間とつながり、希望をもって自分らしい花を咲かせる社会を築くことです。そのために、YMCAが「みつかる。つながる。よくなっていく。」かけがえのない場所となり、誰もが安心して成長できる環境を守り続けたいと心から願っています。創立79周年という節目を迎え、これまで支えてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。山梨YMCAは、これからも地域に根ざした活動を続け、未来へ向けて新たな一歩を踏み出してまいります。

